



佐世保市立黒髪小学校

所在地 佐世保市黒髪町52-1

校長 吉田 春樹

児童数 478名

学級数 20学級

(児童数、学級数は R4.5.1 現在)



【教育目標】

明るく元気な子ども 楽しく学ぶ子ども 仲良く助け合う子ども

「知・徳・体」の調和がとれ、心豊かで、優しさとたくましさを備えた黒髪っ子の育成を目指す。

ひと

ふるさと

社会

<p>さまざまな体験活動を通して、人とつながり、触れ合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培活動 ・体験活動 ・家族や地域とのつながり ・人(他者)への関心 ・相手の思いや願い ・コミュニケーション能力 	<p>地域の自然や施設、歴史や文化などについて関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然(環境保全) ・地域の施設 ・地域の歴史、文化 ・愛校心の醸成 ・ふるさとへの愛着 ・伝統を受け継ぐ心 	<p>福祉・平和など、社会事象について体験的に学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者との交流 ・障害がある方の擬似体験 ・共生社会の実現 ・戦争の悲惨さ、平和の大切さ ・自分にできる社会貢献活動 ・自己の生き方、社会との関わり方
---	--	--

<各学年の具体的な取組内容>

【第1・2学年、特別支援学級】「野菜を育てよう」

【ねらい】

野菜を育てることで、命を大切にする態度や思いやりの心を育てる。

【活動の概要】

トマトやサツマイモ等の野菜を畑に植え、当番で水やりなどをしながら大切に育てた。収穫した野菜は、学校で調理したり、家庭に持ち帰ったりして食べることができた。

【成果】

友達と協力して野菜を育て、収穫、調理して食べる活動を通して、収穫の喜びを味わわせるとともに、命の恵みに感謝する心を育まれた。また、家族の人と調理することで家族だんらの時間が生まれ、親子間の心の交流を図ることができた。



【第3学年】「笑顔いっぱい町づくり」

【ねらい】

花を育てる活動を通して、学校や地域の環境美化に貢献し、自分が暮らす学校や地域を大切にする心を育てる。

【活動の概要】

パンジーやビオラなどの花を苗から育て、学校の環境美化を図った。また、地域の人と連携して、育てた花を地域の花壇や路肩に飾った。

【成果】

自分の育てた花が、地域の環境美化につながり社会に貢献できたことを喜ぶとともに、学校や地域で生活する人々の心を豊かにしようとする態度を育てることができた。



【第4学年】「平和について考えよう」

【ねらい】

原爆や戦争のことを体験的に学び、平和の尊さについて考え、自他の命を大切にする心を育てる。

【活動の概要】

原爆資料館や平和公園を見学し、語り部の話を聞いて戦争の悲惨さや平和の尊さについて学んだ。6月の佐世保大空襲の日には、全校で折り鶴を折る活動を行った。

【成果】

原爆資料館で実際に被爆した物を見たり、被爆者から直接話を聞いたりしたことで、平和への願いを強めることができた。命を大切にする心情を育むことができた。



【第5学年】「生ごみリサイクル元気野菜づくり」

【ねらい】

生ごみリサイクルによる野菜づくりの体験活動を通して、現在の環境問題の解決方法を考えさせるとともに、自分自身の食生活の習慣を見直し、心や体を健康にしていく態度を育てる。

【活動の概要】

環境アドバイザーを講師として招いて、環境問題や生ごみリサイクルの方法について学び、実際に生ごみリサイクルでできた畑で、ニンジンとダイコンを育てた。収穫後は、各家庭で調理を行ったことをレポートにまとめ、授業参観で発表した。



【成果】

1年を通して、プロジェクト型の学習を仕組んだことで、児童が目標をもって主体的に学ぶことができた。また、ホームページ等を活用して保護者にも学習状況を周知し、家庭を巻き込みながら健康な体づくりや生活習慣を実践していく態度を育てることができた。

【第6学年】「お年寄りや地域の人たちが生き生きと暮らせる社会に」

【ねらい】

体験的な活動を通して「福祉」について理解を深め、相手に思いやりをもって行動する態度や、今後、共生社会の実現に向けて貢献しようとする心情を育てる。

【活動の概要】

社会福祉協議会から講師を招いて福祉について学び、アイマスクや車いすなどを使った障害者の疑似体験を行った。体験後には、考えたことをまとめ、発表を行った。



【成果】

疑似体験を通して、現代社会が抱える福祉に関する問題点や課題について考えることができた。また、日常生活における自分自身と「福祉」との関わりについて関心をもたせ、相手の立場や気持ちを常に考えて行動するの大切さに気付かせることができた。

【特別支援学級】「門松づくり～新しい1年が始まるよ～」

【ねらい】

日本の伝統的な行事に親しみ、新年を新鮮な気持ちで迎える態度を育てる。友達と協力して制作する中で、助け合うことのよさを感じさせる。

【活動の概要】

特別支援学級「なかよし」「ひまわり」「たんぽぽ」の3クラス合同で、友達と協力しながら、楽しく門松を制作できた。

【成果】

正面玄関に置いた門松は、保護者や地域の人、来校者にも関心が高かった。制作に関わった児童をはじめ、学校全員で新年の雰囲気を感じながら明るく生活することができた。

